

シンポジウム 多文化共生と夜間中学『新』時代



- 日 時 平成29年2月10日(金) 18:30~20:30
- 会 場 伊勢崎市文化会館 2階大会議室
- 定 員 120名 (参加無料)
- 内 容 第1部 政経クラブ報告会
第2部 基調講演 講師 見城慶和氏
パネラー (予定)
学校教育関係者・多文化共生関係者
社会福祉関係者・青少年問題関係者

かつて生活苦で就学できな人が多かった「夜間中学」。今日では外国人や不登校だった人の利用が増えている。現在全国にわずか31校。昨年、文部科学省は夜間中学を「貧困のセーフティーネット」と位置づけ、外国人や不登校だった生徒などの潜在的なニーズが高いとして全都道府県に最低一校設置する方針を示した。外国人集住都市のひとつである伊勢崎市における夜間中学の必要性について。この機会に皆さんと一緒に考えたい。

■講師プロフィール



見城慶和

けんじょう よしかず (1937年生)

元夜間中学教師。山田洋次の映画『学校』の主人公のモデル。群馬県沼田市出身。塚原雄太の『夜間中学生』に感銘を受け、夜間中学の教員になる決意。以降42年間、都内の公立中学校夜間部に国語担当教師として勤務。1999年、長年の実績が評価され吉川英治文化賞を受賞。2003年の定年退職後も夜間中学生を中心に学びの場「えんぴつの会」を運営